



学校教育目標
人を思いやり、自らをみがく、
心豊かで、たくましい家島っ子の育成

めざす児童像
いつも、どんなことにもがんばる子
えがおで、元気にあいさつする子
しっかり考え、チャレンジする子
まわりの子とやさしく支え合う子
しょう来の家島を想い、ふるさとを愛する子

地域・児童の実態
本校は、播磨灘に浮かぶ家島群島のうち主要島である家島と採石業の作業場が多く所在する男鹿島を校区にしている。
家島の人々は、海運業・漁業・採石業等、過去千百年以上も海での仕事を受け継いできている。
児童は、地域の行事に積極的に参加するなど、自分たちの住んでいる「家島」が好きである。しかし、校区内に魚釣りや磯遊び、海水浴ができる恵まれた環境にあるにも関わらず、体験が少なかったり、生まれたときから海や魚を目にしたりしているため、海の生物や環境のありがたさをあまり享受できていない。

- 関係法令等**
- ・教育基本法
 - ・学校基本法
 - ・小学校学習指導要領
 - ・国際連合条約
 - ・海洋基本法

海洋教育の目標
ふるさとの「海」に対する愛着を深め、ふるさと家島を誇りに思い、ふるさと家島の未来に関心を持ち続け、行動できる児童を育成する。

- 海洋教育でめざす児童像**
- ・ふるさと家島を誇りに思い、大切にしていこうとする子
 - ・自分達が住んでいるふるさと家島に対する愛着を深め、ふるさと家島のために何ができるかを考え、行動する子
 - ・地域の産業の現状と課題を知り、その解決に向けて考える子
 - ・生涯に渡り海とつながり、ライフワークを楽しもうとする子



海洋教育で育成すべき資質・能力・態度

海に親しむ	海を知る	海を守る	海を利用する
海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海に自然に親しみ、海に進んでかかわろうとする児童を育成する。	海の自然や資源、人との深いかかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。	海の環境について調べる活動やその保全活動などの体験を通して、海の環境保全に主体的にかかわろうとする児童を育成する。	水産物や資源、船舶を用いた人や物の輸送、また海を通じた世界の人々との結びつきについて理解し、それらを持続的に利用することの大切さを理解できる児童を育成する。

【短期目標(1年後)】

●学習活動に対する探究を深め、自信を持って発信することができる

○家島に対する意識(興味・愛着)をたかめる(目標前年比10%)

【中期目標(3年後)】

○根拠をもとにふるさと家島の良さを語る事ができる

【長期目標(5年後)】

○ふるさと家島の良さを理解し、家島とのつながりを大切にする

